

# 令和5年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立八幡台小学校

作成日

令和6年3月8日

## 1 教育目標

強く・正しく・美しい心を持つ子どもの育成

- 心身ともにたくましく、意欲を持って粘り強く考える子
- 豊かな心を持ち、思いやりのある子
- 正しい判断のもと自ら進んで実践する子

## 2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	◎主体的に学習に取り組む子どもの育成 ◎基礎・基本の定着 ◎学習規律の定着	◎道徳教育の充実、道徳的実践力の養成 ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎人権意識の向上	○基本的生活習慣の確立 ○体力向上の推進	○家庭・地域との連携充実 ○中学校区における学校間連携の推進
意重点目標に対する	○進んで学ぼうとする姿勢は大切である。 ○基礎基本はしっかり定着できるよう、反復練習も大切である。 ○家庭との連携が必要である。	○いじめを許さず、人の気持ちを理解する子どもになってほしい。 ○大人の人権感覚も磨かなくてはならない。 ○体験学習を積極的に行ってもらいたい。	○家庭との連携が大切になる。 ○学校でしっかりと運動させてもらいたい。	○HPでの発信は大切である。 ○中学校との連携交流があってもよい。
意取組状況に対する	○自分から進んで学ぼうとしている子どもが増えてきたように感じる。 ○家庭学習が十分にできているか。 ○ICT授業の資質向上も検討してほしい。	○道徳の学習がしっかりとできているのではないか。 ○優しい子どもに育っていると感じる。 ○挨拶もしっかりできる子どもが多い。 ○担任は一人一人に向き合ってもらいたい。	○家庭との協力関係を大切に、子どものよりよい生活習慣を確立できるようにしてほしい。 ○ゲームやスマホとの付き合い方については、学校でも家庭でもしっかり考えていく必要がある。	○HPやお便りで学校の様子がわかり、ありがたい。 ○小中学校の連携交流が必要であるという気持ちを大切に持ち続けてほしい。
に取組の適切さの検証結果	○学校と家庭、両面での連携した取り組みが必要である。 ○家庭学習が習慣化されていないと子どもの学力は向上しないので、家庭との連携が大切である。 ○子どもの学力に不安を感じる。	○学校では先生方が範を示し、子どもたちの情緒面を育ててもらいたい。 ○子ども同士のより良い関わりには、保護者間のコミュニケーションが円滑であることも大切。	○学校では、生活習慣確立に向けた学習をしっかりと続けてもらいたい。また、各家庭への協力依頼を積極的に行い、連携しながら子どもを育ててほしい。 ○ネットリテラシーの学習に注力してほしい。	○地域の間が気楽に訪ねてくれるような場所があればありがたい。 ○できる範囲で、これからもしっかりと協力していきたいと思う。
改善年度に向けての意見	○子どもが自ら学ぼうとする気持ちをしっかりと育ててもらいたい。 ○中学校、高校へと進んでいくことを踏まえた教育を行ってもらいたい。 ○家庭との連携を大切に、学習の習慣化を図ってほしい。	○誰に対しても優しい気持ちを持てるよう、みんなで子どもたちを大切に育ててもらいたい。 ○いじめにつながるようなことも考えられるので、子どもたちの人間関係についてきめ細かく見てほしい。	○家庭との連携をしっかりとやってもらい、基本的生活習慣を確立させてもらいたい。 ○体育の時間や休憩時間など、学校の運動できる機会を大切にしてほしい。	○地域の方が気楽に訪問できる学校であってほしい。 ○学校からの情報発信をしっかりとしてもらい、地域へ支援を依頼するとよい。 ○自治会と連携し、通学路の安全対策も進めてもらいたい。

## 3 その他のご意見

- 学校教育と家庭教育にある程度の線引きが必要。学校に押し付けるばかりではいけない。
- 教職員はしっかり頑張ってくれているように感じる。
- 各種支援活動を学校から地域に要請してもらいたい。地域には学校を支援したいと考える人材が一定数いる。
- 子どもたちに多様な体験を学校内外で積ませてあげたい。
- 挨拶の大切さを、大人も子どもも今一度考える必要がある。
- 保護者間のコミュニケーションがスムーズにとることのできる機会をとっていききたい。